

令和8年度景観研修実施要領 ※共催

- 目的 実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。
- 受講対象者 (関連分野) 建設業及び測量設計業、造園業に従事する民間の技術者
※受講対象者以外の方でも受講できますが、研修内容が専門的であることを申し添えます。
- 募集人員 15人
※公平性を考慮し、原則として1社あたり2名様までの受付とします。
※定員を超える申込みがあった場合は締切前に募集を終了させていただきますので御了承ください。

【注意事項】

研修に使用するテキストは、推進機構ホームページからダウンロードしていただき、各自印刷して受講してください。
受講証明書についても、研修終了後にホームページからダウンロードにより発行となります。
なお、研修テキストは、「職場内の研修資料」や「個人の資料」としてのみの利用としていただくようお願いします。

- 研修期間 令和8年10月1日(木) 1日間
- 場所 三股町役場周辺
- 講義内容 2ページ目参照
- 申込方法 宮崎県建設技術推進機構ホームページの、研修事業・案内 → 研修案内 を御覧いただき、その下に記載の 令和8年度研修計画 → 1. 一般研修 → 景観研修 → 申込み(フォーム)にてお申込みください。

※【建築士会CPDについて】単位登録を希望される場合は、「社名、連絡先、担当者様入力欄」一番下の「連絡欄」に、「希望者のお名前」と「建築士会CPD番号(11桁)」を必ず御記入ください。

※お申込み後、「研修のお申し込みメール(受講票)」が届きます。15分後までに届かない場合は御連絡ください。

「研修のお申し込みメール(受講票)」は印刷されまして、受付時に御提示ください。

※業務の都合等で受講できない場合は代替りの方が受講しても構いませんが、必ず事前に御連絡ください。

- 申込締切 令和8年9月14日(月)

■研修経費及び納入方法、納入期限

(1)研修経費 一人当たり 5,000円(税込み)

(2)納入方法 銀行振込のみ(振込手数料は各自御負担ください。)

・「ご依頼人」の欄に、「ケ」(景観研修の略)と「受講番号」(推進機構からのメールに記載)を御記入ください。

(記入例) 会社名が推進建設(株)、受講番号が130番の場合

ケ130スイシンケンセツ(カ・・・フリガナの欄
ケ130推進建設(株)・・・おなまえの欄

※ネットバンキング等で、左記のように
できない場合は、会社名だけで結構です。

・振込先 宮崎銀行 県庁支店 普通 1479834 公益財団法人宮崎県建設技術推進機構
ザイ)ミヤザキケンケンセツギジュツスイシンキコウ

(3)納入期限 令和8年9月16日(水)まで

■申込の取消し・返金について

- (1)返金可 ①令和8年9月16日(水)までの取消し : 受講料から振込手数料を除いた額を返金します。
(2)返金不可 ②令和8年9月17日(木)以降の取消し : 返金できませんが、ホームページにログインするID・パスワードを送付しますので、テキストのダウンロードは可能です。

- 持参品 受講票(研修のお申し込みメールを印刷したもの)、筆記用具、デジタルカメラ、三角定規、三角スケール

- 受付日時 令和8年10月1日(木) 9時30分～9時45分

■申込先及び問合せ先

(公財)宮崎県建設技術推進機構 土木課 企画研修システム担当
〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階
TEL 0985-20-1830 (音声ガイダンスは1番です)
メールアドレス mks-25@mk-suishin.or.jp
ホームページ <https://www.mk-suishin.or.jp>
※宮崎県建設技術センターへのお問合せはご遠慮ください。



※本研修は、(一社)建設コンサルタンツ協会継続学習(CPD)、(一社)宮崎県建築士会CPD制度(建築CPD)のプログラム認定を申請予定です。

建築士会CPD単位登録を希望される方は、「連絡欄」にCPD番号(11桁)を必ず御記入ください。

令和8年度景観研修概要 ※共催

【概要】※日時、予定人員、内容等は変更となる場合がございます。

期 間	令和8年10月1日(木) 1日間					
場 所	三股町役場周辺					
目 的	実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。					
受講予定者 (関連分野)	建設	○	法面	—	測量設計	○
	地質	—	造園	○	その他	(県・市町村職員)
予 定 人 員	15人					
主 催	宮崎県建設技術センター、(公財)宮崎県建設技術推進機構					

【時間割】

月日	曜日	時間	教科目	講師
10月1日	木	9:30～9:45	受付	
		9:45～10:35	風景のとらえ方	未定
		10:35～10:45	休憩	
		10:45～11:35	風景のつくり方	未定
		11:35～11:45	休憩	
		11:45～12:00	現地調査箇所の概要説明	三股町役場 五本松交流拠点施設推進室
		12:00～13:00	休憩	
		13:00～14:20	現地調査	未定
		14:20～14:30	休憩	
		14:30～15:50	グループディスカッション	
		15:50～16:00	休憩	
		16:00～17:00	全体ディスカッション	
		17:00～17:05	閉講式	

【内容】

講義名	内容
風景のとらえ方	○ 対象地の地形や歴史を景観として読み解くことの重要性について学ぶ。 ・地図の縮尺とスケール感に応じた風景の読み方 ・地形を風景として読む。 ○ 視点場を正しく理解する。
風景のつくり方	○ 通常業務において、景観に配慮することの必要性について学ぶ。 ○ 現地調査において共有すべき内容(必要条件)について学ぶ。 ○ 景観に配慮した事例について、景観設計のアプローチを学ぶ。 ○ 公共工事における景観、視点場の捉え方について考える。
現地調査箇所の概要説明	○ 現地の整備事業の概要を学ぶ。
現地調査	○ 各班で現地調査を行う。 ・対象エリアの読み解きと景観マスタープランの素案を念頭においた基礎資料づくり(写真も撮影)
グループディスカッション	○ 各班でグループ討議を行う。 ・現地調査を踏まえて、グループで現地を複数の視点で分析し、その理由を整理する。
全体ディスカッション	○ 全体ディスカッション ・グループディスカッションの結果について、現地調査の際に撮影した写真を交えながら、班ごとにプレゼンを行い、全体で議論する。